

令和4年度 第1回 福岡市立学校通学区域審議会 議事要旨

1 日時 令和4年7月14日(木) 11:00~12:00 ※オンライン開催

2 事務局会場 教育委員会会議室 福岡市中央区天神1丁目8-1

3 議事

- 諮問
- ・アイランドシティ地区新設小学校(仮称)の通学区域の設定について
 - ・照葉北小学校及び照葉小学校の通学区域の一部変更について

4 出席者 審議会委員 18名

○市議会議員

調委員、山口委員、川上多恵委員、ついちらは委員、福田委員

○学識経験者

高妻委員(会長)、稲葉委員、西山委員、尾石委員、今井委員、吉田委員

○父母教師会代表

岡村委員(副会長)、波多江委員、豊澤委員

○学校長代表

西村委員、小野村委員

○教員代表

富永委員

○市職員代表

駒田委員

○事務局

石橋教育長、福田教育次長、江崎教育環境部長、吉安通学区域課長 ほか

5 傍聴者、報道関係者 なし

6 議事録(要旨)

(1) 開会

(2) 教育長のあいさつ

(3) 委員の紹介

(4) 諮問

- ・アイランドシティ地区新設小学校(仮称)の通学区域の設定について
- ・照葉北小学校及び照葉小学校の通学区域の一部変更について

上記について資料に基づき事務局から説明があり、委員から次の意見等があった。

(委員) こども病院に院内学級があるが、そちらに通われているお子さまや保護者に対して通学区域の変更についての説明はされたのか。

(事務局) 通学区域の協議にあたっては、アイランドシティ地区内にニュースを配布したり、アンケートを行ったりという形で、広くご意見を伺っている。

その際に、院内学級のお子さまや保護者へ個別のご説明は差し上げていないが、これまでの周知の中で、今の状況はご承知いただいていると認識をしている。

- (委員) 香椎照葉5丁目は、こども病院の周辺から新設小学校に通学することとなるが、通学距離が遠くなるため、反対の声はなかったか。
- (事務局) 香椎照葉5丁目の中で、こども病院は南の区画にあるが、居住者は北側の区画に集中している。香椎照葉5丁目から照葉北小学校への通学距離からはやや伸びるが、通学区域の協議の中でこの区域から遠くなるとの意見はいただかなかった。しかし、車の交通量が多い地点のため、通学の安全をご懸念される声があり、開校準備の中で、対応していくこととしている。
- (委員) 新設小の開校と同時に公民館は新設されるのか。
- (事務局) 所管は市民局になるが、新設小学校の開校に伴い公民館の設置に向け、準備を進めていると聞いている。
- (委員) 現在、アイランドシティには中学校が一つしかないが、中学校が二つになるという可能性はあるのか。
- (事務局) アイランドシティ地区は、生徒数も増えていく見込みであり、新設小学校の西側の隣接地を中学校の予定地としており、将来的に整備をしたいと考えている。今後の住宅開発の状況を見て、開校時期がいつになるのかを現在見極めている状況であり、子どもたちの教育環境に影響がないように適切に判断をして、中学校の整備も進めていきたいと考えている。
- (委員) 香椎照葉3丁目について、1番、2番の2号から5号は、現状でも照葉小学校の通学区域のため、今回の通学区域変更の対象にならないという事でよいか。
- (事務局) ご指摘のとおりである。
香椎照葉3丁目については、元々照葉小学校の通学区域であったが、照葉北小学校を分離新設する際に過大規模解消のため、平準化を図る必要があり、丁の途中で通学域の線が切れていた状況であった。
今回の協議にあたっては、コミュニティの範囲をどう取り扱うかという事が非常に大きなテーマになり、様々な意見をいただいたうえで、町の単位を一致させることが将来的にもよいという事で、今回の通学区域案となった。
- (委員) 子どもたちがどんどん増えていくとは、とても喜ばしいことだが、児童数の推計にあたり、開発計画などのベースになるものがあると想像するが、その情報をシェアしていただきたい。
- (事務局) アイランドシティ地区については、港湾空港局が地域・事業者と連携をしながらまちづくりをしているため、今後の住宅開発計画を教育委員会に共有いただいている。アイランドシティ地区は、ファミリー向けのマンションが非常に多くあり、市内の平均に比べ、幼児・児童の発生がかなり多い地区である。
今後ファミリー向けのマンションができれば、過去の実績からどれほど幼児・児童が出てくるといったことや、転出入等のデータを積み上げ推定を行っている。
- (会長) 香椎照葉3丁目の1番、2番の2号から5号の方々については、照葉北小学校が新設される際に、言葉はきついかもしれないが分断され、さらに6年後にまた元に戻る。いわば、翻弄されている地域とも映ると思う。
そういった住民の方々に対する十分な説明は、どの程度なされているのかを、シェアしていただきたい。
- (事務局) 我々も、そこは非常に重要なところだと思っている。

現在、照葉北小学校に通っている香椎照葉3丁目に関しては、照葉北小学校開校時の経緯と、今回の通学区域の変更にあたっての不安や、子どもへの影響をご懸念している声を、これまでの地域説明会や住民説明会をコミュニティ単位で個別に行う中で伺ってきた。

今回の通学区域変更により、照葉小学校に戻る形になったため、子どものへ影響については、我々としても非常に注意していかなければならないと考えている。

照葉北小学校、照葉小学校の学校長とも協議をしており、子どもの過度な負担にならないように、なる場合は個別にケアをしていき、ストレスがかからないような形をとっていく。

協議会の中でもそういった意見は出たため、注意深く、丁寧にケアしていくこととしている。

(委員) この通学区域の変更によって、入学時から学校が変わるのではなく、一年生から六年生まで、その区域に住んでいらっしゃるお子さまは、そのままスライドして、照葉北小学校から照葉小学校や新設小学校に動くことになるのか。

(事務局) ご指摘の通り原則は、開校の時に、お示ししている通学区域に住まいの方は、新しい学校の方に移っていただくこととしている。

(委員) ということは、兄弟児が別の学校に行く状況は生まれません。

逆に、不登校傾向であったり、脆弱性の少し高いお子さまのご家庭などについては何か弾力的な対応とかについては想定しているのか。

(事務局) 原則新しい学校に移っていただく形にすると、やはり不登校傾向のある児童などへの影響も含め、配慮が必要な児童も必ず出てくると思う。

開校までの間、学校の中でも工夫をしながら、新しい学校に行くことについては、抵抗が生まれないう、しっかり指導もしていきながら、配慮が必要な児童に対しては、個別に対応を行っていくことを通学区域協議会でも協議を行ったところであり、丁寧にやっていきたいと考えている。

(委員) 福岡市は全国の中でも例を見ない形で教育相談コーディネーターを全中学校に配置するなど、特に登校に苦慮しているお子さまに対しての支援を行っていると思うが、照葉中学校のコーディネーターだけにお任せしてのサポートを小学校に向けて行っていくのは時間的に厳しいと思うため、移行期間には小学校への教育相談スタッフの加配的なものがあつたりすると、よりスムーズにいくと思ったので、あわせてご検討いただけたらと思う。

(委員) 照葉中学校の問題だが、令和9年度に961名と推計しているが、どれだけの人数まで耐えられるのか。

(事務局) 31学級以上が過大規模校となるため、照葉中学校の令和9年度30学級と見込んでおり、過大規模目前の規模である。これを超えるということであれば、分離新設をし、校区を分けて適正な規模にすることは視野には入っている。

(委員) 香椎照葉3丁目の方々は照葉小学校の通学区域から一番離れた地域になるが、この地域の方々の意見は市教委としても受けとめ、それに対する対応をしているという理解でよいか。

(事務局) 地域が照葉小と照葉北小とに分かれて今まで苦労したという話や、保護者の方から、また戻らなければならないといったことも含め、様々な意見をいただいている。

そこに関しては先ほど申しあげた考え方を説明させていただくとともに、しっかり個別に各児童のケアもしていくこととお話しており、そういった意見をしっかり踏まえ、開校後も丁寧に対応していきたいと思っている。

(委員) 新設小学校の校区になると、新しい自治協議会として、組織を設定しなければならないと思うが、そういった課題を地域の方々との話し合いの中で、ちゃんと理解をしているか、対応ができているかを質問したい。

(事務局) 小学校が新しくできれば、自治協議会や公民館も分かれていくことが自然な流れになってくる。

今回の協議会の地域説明にあたっては、そういったことも視野に、地域の方と協議をしている。特に協議の中では、東区の地域支援課にも入っていただき、コミュニティの今後の問題であったり、相談を承る形で、区役所とも連携をしながら今回の通学区域案の決定をしており、今後も丁寧に対応していきたい。

(委員) これまで様々な協議・検討をしてきたと思うが、今の3年生・4年が令和6年度の新設小学校開校時に5年生・6年生になる。その時にお友達と分かれるということが非常に気になっている。

原則、新設学校に行くことが本来の考え方だと思うが、令和6年度時点の6年生においては、保護者以上に、子どもたちから既存の学校に行きたいという希望があるのではないかと思う。

また、資料の5ページの令和3年度児童推計だが、新設小学校の令和8年度児童数が876人、学級数が24学級であり35人学級で考えると1学級あたり36名程になり、ここはもう少し学級数が増える要素があるかと思う。

そのため、新設小学校においては、開校時から校舎の教室数を増やすことも検討してみてはいかがか。

学校によっては、学級数が増え、プレハブ教室等をグラウンドに建てている学校もあるため、そうならないよう、最初から検討していかなければならないと思う。

(事務局) ご指摘の6年生で前の学校に残って卒業したいといったご意見は、子どもたちや保護者から、今回の協議会の中でいただいた。

一部には自由に子どもたちや、保護者の意思で残れるようにしたらどうかといったご意見もあったが、学校規模の平準化や、照葉北小学校にプレハブが残るのかといったこともあるため、原則論として、新設小に行っていただき、しっかり6年生の1年間活動いただいたうえで、新設校の一期生として作り上げていただくことを、お願いしている。

もちろん、適応が難しい子や配慮が必要な子に関しては、個別対応を丁寧に行っていくが、原則は新しい学校に行っていただくという形で、最後は協議会の意見としてまとまった。

また、新設小学校は、開校時の19学級から、22学級、24学級、28学級と増えていく状況である。

プレハブ教室は、一時的に教室が足りない場合に設置を行っているところだが、学級数が増えていく状況では、教育環境をしっかり確保していく必要があり、アイランドシティ地区は、今後も児童生徒が増えていくことが見込まれているため、一時的にプレハブ教室でつなぐことがなるべくないよう、事前にしっかり港湾空港局と

も連携をし、児童数の推計を行い、学校の教育環境をしっかりと確保していきたいと考えている。

(委員) この地域は外国籍を持つ子どもたちが多い地域であったか。子どもたちで誘い合っ
て通学などができていたらいいと思う。

また、地域づくりというのはとても大きな課題であり、特に小中の義務教育の段階
での地域づくりというのは学校や子どもたちを通して行われることが多く、やはり
とても重要という事が、研究等で盛んに言われている。今回新しい小学校ができる
ことを機会とらえ、地域づくりが並行してなされるとよいと考える。

(事務局) 外国籍の子どもたちについて補足だが、アイランドシティ地区も 100 名程度外国籍
の方が在籍しており、照葉北小学校においても、日本語指導等のサポートは行って
いる。

今後、新しいマンションができた際にも、外国籍の方もマンションを購入されるこ
とも予見できるため、しっかりサポートできるような体制をとっていくことが重要
であると考えている。

(委員) 私の住む校区は、学校が分校新設されたため、非常に運動場も狭く、学校の教室数
も少ない。今も留守家庭関係の問題も出てきており、様々な面で問題が出てきてい
る。

私もスポーツ行事などを小学校のグラウンドでできないため、中学校のグラウンド
を借りて行うなどしており、アイランドシティ地区新設小学校の児童数も将来的に
1,000 名近くなる可能性があるため、町内で子どもたちが十分に活動できる施設が
ないといけないと考える。

(事務局) 既存市街地に学校を新しく作る際には、どうしても基準の面積がとれないことが確
かにあり、児童数の増加に伴い、グラウンドが手狭な学校はいくつがある。

アイランドシティ地区においては、計画的に学校用地を確保しているため、校地面
積やグラウンド面積は、基準をクリアし、教育環境が確保できる形で進めている。
もちろん、児童が増え、過大規模になっている今の照葉北小学校については、40 学
級を超えていく、一時的にご不便をかけているが、計画的に新しい学校の教育環境
をしっかりと確保していきたいと思っている。

(委員) 香椎照葉3丁目は、通学距離が長いので新設校に行かなくてよかった。

しかし、照葉小学校へ校区が変わるということで、大人は保護者たちへのアンケー
トを実施したと聞いたが、子どもたちへのアンケートはとっているのか。

おそらく、もうルール上決まっているため、学校が変わるというのは、仕方ないこ
とだと思うが、子どもたちにとって、学校が変わったことで心が不安定になる子も
いると思うため、ケアをしっかりとお願いしたいと要望しておく。

(事務局) 児童相手に直接アンケートはしていないが、我々が行った校区全体のアンケートに
合わせ、各マンションで個別にアンケート等をとられており、そこでの意見を集約
したものを我々もいただいている。

子どもや保護者の方も不安に思っているとの声は十分お聞きしており、協議会の中
でも、やはり論点として出たため、学校としっかり連携をし、開校までしっかりケ
アをしていきたいと思っている。

(会長) もうご存知の委員の方々ばかりだと思うが、アイランドシティは、すでに7～8棟

ほどの非常に高層のマンションが続いている。都市高速から見るとここはお台場かと勘違いするくらい、非常に都市型のまちづくりが進んでいるように見受けられる。いろいろご意見やご質問、そして確認事項を共有させていただいたが、本日の諮問2件、『アイランドシティ地区の新設小学校の通学区域の設定』、そして照葉北小学校及び照葉小学校の通学区域の一部変更について』一括審議とさせていただきたいと思う。

原案のとおりとしてよろしいか。

(委員一同) 異議なし。

(5) 閉会